



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 高千穂交易株式会社

コード番号 2676 URL <http://www.takachiho-kk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 戸田 秀雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営システム本部長 (氏名) 植松 昌澄

TEL 03-3355-1111

四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	5,140	22.7	2	△97.8	△21	—	△75	—
27年3月期第1四半期	4,190	△3.8	106	△12.1	130	△7.5	178	210.9

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 △110百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 224百万円 (136.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第1四半期	△7.75	—
27年3月期第1四半期	18.23	18.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
28年3月期第1四半期	18,957	14,310	75.1	1,495.02
27年3月期	19,839	14,947	75.0	1,515.65

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 14,243百万円 27年3月期 14,879百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	10,680	23.7	340	42.5	340	2.8	140	△55.5	14.47
通期	23,000	22.3	1,160	68.6	1,160	34.0	630	6.8	65.10

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	10,167,300 株	27年3月期	10,167,300 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	639,807 株	27年3月期	349,807 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	9,677,273 株	27年3月期1Q	9,801,422 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9
販売実績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、大・中堅企業と中小企業では企業収益にばらつきがあるものの、消費マインドの改善や家電量販店での訪日外国人向けの販売増など堅調な個人消費と製造業の改善による設備投資の増加など、全体としては緩やかな回復基調が続いております。先行きについては、雇用・所得環境改善の傾向が続くなかで、各種経済対策の効果や原油価格下落の影響などにより、緩やかに回復していくことが期待されているものの、ギリシャ債務問題や中国の経済成長鈍化など海外経済の下振れがわが国の景気を下押しするリスクも懸念されております。

当社グループの市場環境は引き続き競争激化の状況にあります。新たな成長を見据え独自の付加価値強化による収益性の向上及びアジアを中心とした成長市場への進出によりグローバルビジネスの拡大を図っております。

具体的には、システムセグメントでは、主要商品である商品監視システムや入退室管理システムの付加価値強化、RFIDシステム、リテールソリューション、クラウド型無線LAN等の新たな市場開拓、またTakachiho Fire, Security & Services(Thailand)Ltd.が従来からタイにおいて展開していた防火システム事業を、Guardfire社の買収によりASEAN諸国全体に広げ、かつ高度防火システム事業に拡大させるなど、グローバル事業拡大を図ってまいりました。他方、デバイスセグメントでは、電子事業においては主に通信関係の新商材の拡販や各種半導体を使用した基盤設計の提案を強化し、また産機事業では海外ATM向け電子錠の拡販や新たに米国に機構部品の販路を拡大するなどの戦略を展開し、グローバル市場での拡販に注力してまいりました。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、Guardfire社の損益計算書を新たに連結したことに加え、小売業向けの販売が多いシステムセグメントの販売回復により受注が好調に推移するなか、売上高は前年同期比22.7%増の51億40百万円となりました。

損益につきましては、円安などによる商品調達コストの増加や当期に一部低粗利案件が発生した影響などにより、営業利益は前年同期比97.8%減の2百万円、経常利益は外貨建債権の評価により為替差損32百万円が発生したことなどから前年同期と比較して1億51百万円減少し、21百万円の損失となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、資産譲渡による税効果会計適用の影響を受けた前年と比べ、法人税等調整額が大幅に増加したことなどから前年と比較して2億53百万円減少し、75百万円の損失となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(システムセグメント)

システムセグメントの売上高は、前年同期比39.5%増の27億52百万円、営業利益は、前年同期と比べて9百万円減少し96百万円の損失となりました。

セキュリティ商品類では、当四半期連結会計期間よりGuardfire社の損益計算書を連結したことに加え、家電量販店向け商品監視システムの販売が堅調に推移したことなどから、売上高は前年同期比67.5%増の19億19百万円となりました。

その他ソリューション商品類は、メーリング機器の販売増やクラウド型無線LANの販売が伸張した一方で、RFIDの特殊タグの開発や大型プロジェクト案件が遅れていることなどから、売上高は前年同期比8.6%減の2億61百万円となりました。

カスタマ・サービス商品類は、前述のセキュリティ商品類などの販売増により、設置料収入が増加したことなどから、売上高は前年同期比5.6%増の5億70百万円となりました。

(デバイスセグメント)

デバイスセグメントの売上高は、前年同期比7.7%増の23億87百万円、営業利益は電子商品類において円安の影響を受けたことなどにより前年同期比48.6%減の98百万円となりました。

電子商品類では、アナログ商品の販売が苦戦した一方で、新規で取扱いを開始した半導体や電子部品の販売が堅調に推移したことなどにより前年同期比1.3%増の8億88百万円となりました。

産機商品類では、日本メーカーの海外向けATMへのスライドレールや電子錠などの機構部品の販売が堅調に推移したことなどから、売上高は前年同期比11.8%増の14億99百万円となりました。

※ 当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、「3. 四半期連結財務諸表(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。これにより「カスタマ・サービスセグメント」を「システムセグメント」に含めて表示し、前第1四半期連結累計期間の「システムセグメント」の売上高は5億40百万円、営業利益は33百万円増加しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ8億82百万円減少し、189億57百万円となりました。これは商品及び製品が2億89百万円増加した一方で、現金及び預金が5億87百万円、受取手形及び売掛金が3億25百万円、のれんが2億31百万円減少したことなどによるものです。

他方、負債は、前連結会計年度末と比べ2億45百万円減少し、46億46百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が1億59百万円、賞与引当金が1億24百万円減少したことなどによるものです。純資産は前連結会計年度末と比べ6億36百万円減少し、143億10百万円となりました。これは自己株式の取得により3億11百万円、配当金の支払などにより利益剰余金が2億87百万円減少したことによるものです。自己資本比率は前連結会計年度末から0.1ポイント上昇し、75.1%となりました。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

（2）追加情報

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

（連結子会社の決算日の変更）

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であった、Guardfire Limited及びGuardfire Singapore Pte.Ltd.は同日現在の財務諸表を利用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について必要な調整を行っていましたが、当第1四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更しております。この変更に伴う平成27年1月1日から平成27年3月31日までの3ヶ月の損益については、利益剰余金の増減として調整しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,637	5,050
受取手形及び売掛金	6,608	6,282
有価証券	700	700
商品及び製品	2,202	2,491
その他	482	437
貸倒引当金	△20	△9
流動資産合計	15,609	14,952
固定資産		
有形固定資産	360	368
無形固定資産		
のれん	2,213	1,982
その他	136	140
無形固定資産合計	2,350	2,122
投資その他の資産		
投資有価証券	1,012	1,005
その他	507	509
貸倒引当金	—	△0
投資その他の資産合計	1,519	1,514
固定資産合計	4,229	4,005
資産合計	19,839	18,957

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,128	2,969
未払法人税等	70	34
賞与引当金	281	157
役員賞与引当金	14	6
その他	750	822
流動負債合計	4,245	3,989
固定負債		
退職給付に係る負債	579	584
その他	67	72
固定負債合計	646	656
負債合計	4,892	4,646
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,207	1,207
資本剰余金	1,169	1,169
利益剰余金	12,405	12,117
自己株式	△298	△610
株主資本合計	14,483	13,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	293	296
為替換算調整勘定	92	54
退職給付に係る調整累計額	9	9
その他の包括利益累計額合計	396	359
新株予約権	15	16
非支配株主持分	51	50
純資産合計	14,947	14,310
負債純資産合計	19,839	18,957

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	4,190	5,140
売上原価	3,016	3,953
売上総利益	1,174	1,186
販売費及び一般管理費	1,067	1,184
営業利益	106	2
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	6	8
為替差益	3	—
受取保険金	10	—
持分法による投資利益	0	0
その他	2	3
営業外収益合計	24	12
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	—	32
その他	0	2
営業外費用合計	0	35
経常利益又は経常損失(△)	130	△21
特別利益		
投資有価証券売却益	0	—
新株予約権戻入益	—	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
投資有価証券評価損	43	—
特別損失合計	43	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	87	△21
法人税、住民税及び事業税	20	23
法人税等調整額	△112	31
法人税等合計	△92	55
四半期純利益又は四半期純損失(△)	180	△76
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	178	△75

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	180	△76
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59	2
為替換算調整勘定	△8	△36
退職給付に係る調整額	△6	△0
その他の包括利益合計	44	△34
四半期包括利益	224	△110
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	223	△109
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	システム	デバイス	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	1,973	2,217	4,190	—	4,190
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,973	2,217	4,190	—	4,190
セグメント利益又は損失(△)	△86	191	104	1	106

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額1百万円は、連結調整額であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	システム	デバイス	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	2,752	2,387	5,140	—	5,140
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,752	2,387	5,140	—	5,140
セグメント利益又は損失(△)	△96	98	1	0	2

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額0百万円は、連結調整額であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「システムセグメント」、「デバイスセグメント」、「カスタマ・サービスセグメント」の3区分から、「システムセグメント」、「デバイスセグメント」の2区分に変更しております。

海外事業の拡大を契機として従来のセグメント区分について見直しを行った結果、「システムセグメント」で取扱う各商品類のシステム設計、納入設置・保守等を行っている従来の「カスタマ・サービスセグメント」を、「システムセグメント」の一連の事業として、統合・管理することが経営管理の実態をより適正に表示するものと判断したことによるものであります。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

4. 補足情報

販売実績

(単位：百万円)

区分	前四半期 (平成27年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成28年3月期 第1四半期)
セキュリティ商品類	1,145	1,919
その他ソリューション商品類	286	261
カスタマ・サービス商品類	540	570
システム 計	1,973	2,752
電子商品類	876	888
産機商品類	1,340	1,499
デバイス 計	2,217	2,387
計	4,190	5,140

(注) 当第1四半期連結会計期間より、従来「システムセグメント」、「デバイスセグメント」、「カスタマ・サービスセグメント」の3区分から、「システムセグメント」、「デバイスセグメント」の2区分に変更しております。

「カスタマ・サービスセグメント」は、カスタマ・サービス商品類として「システムセグメント」に含めて、表示しております。

なお、前第1四半期連結累計期間は、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。